

# 重要文化財 月華殿 保存修理事業

We are working on the construction of Gekkadon now. It is a re-roofing construction and the seismic reinforcement construction to make these building safe to use. gekkadon is an important cultural property building that was built in the Edo period and was preserved by Sankei Hara, the founder of Sankeien Garden. We are carrying out these constructions in order to inherit these treasures for a long time by taking over Sankei' s will.



月華殿では現在、保存修理のための工事が行われています。檜皮葺きと柿葺きの屋根を葺き替える作業と、地震から建物を守り建物を安全に利用できるようにするための耐震補強工事です。

月華殿は江戸時代に建てられ、三溪園の創設者・原三溪によって守り継がれた重要文化財建造物です。私たちは、その志を継いで末永く後の世までこの宝を受け継いでいくために、これらの工事を実施しています。

## 月華殿の履歴

大正 7 年 (1918) 京都宇治の三室戸寺金蔵院より譲り

受ける

大正 8 年 (1919)? 移築工事完了

月華殿の被害の記録は無し

大正 12 年 (1923)

関東大震災  
マグニチュード (M7.9 横浜の震度は 6 (推定値))

太平洋戦争中

管理が行き届かず荒廃

S32 に復旧修理  
工事を実施

平成 23 年 (2011)

東日本大震災  
マグニチュード (M9.0 横浜の震度は 5 強)

月華殿の被害は無し

???

??????

将来大きな地震が  
発生したら・・・?

## 月華殿の耐震補強計画

月華殿は重要文化財建造物です。補強工事にあ

たっては、建物の耐震性能を向上させつつ、文化財としての価値を損なわないような補強をすることが求められます。

「文化財としての価値」は実に様々、その全てを損なわずに補強するのはとても難しい。どの価値を優先するかをじっくり考えて補強を計画する必要があるよ。

旧三澤家住宅 (川崎市立日本民家園) の例



町家らしい広々とした空間を保持するた  
め、地下に「免震装置」を設けて、建物に  
伝わる地震の揺れを小さくし、建物自体へ  
の補強を最低限にしています。



## 耐震補強とは？

日本国内で建てられる建造物は、地震に耐えられる強さを持つことが法律 (建築基準法)※で義務付けられています。しかし法律が制定される以前に建てられた建物の多くは、その基準を満たしていません。

安全に建物を使い・観覧できることが続けられるために、建物が地震に耐えられる強さになるよう補強する工事を「耐震補強工事」といいます。壁を頑丈にする、装置で地震の揺れを小さくする、など様々な手段があります。

※文化財建造物等の場合は、文化財としての価値が優先されるため基準の一部が免除されます。しかし建造物を末永く保存し安全に利用できるようにするために、耐震補強をすることが推進されています。